

【今日的な教育的課題、社会的課題に寄与できるトレンドィ WEB づくり】

今日的な教育的課題、社会的課題を明らかにして、それらに寄与できる WEB づくりとは、一体どのようなものなのでしょうか。それを求めて研究を進めて、昨今の情報化時代の求める WEB づくりを目指したいと考えます。また、具体的な例を示し、特別支援教育、インクルーシブ教育、交流教育学校間交流サイトなどの各カテゴリーなどを設けて、2年目以降の充実したWEB 開発を進めて、社会のモデルとなりうる WEB の基本形を完成させたいです。



※研究活動の様子 第一回会合（5月）

★WEBサイト作りの骨子となる考え方をまとめました。

①教育的課題、社会的課題に応えられるWEB作りの考察

教育の課題は山積しています。科学技術は発達して、便利さが増しました。社会構造も大きく変化しました。暮らしぶりが変わり、幼児・児童・生徒を取り巻く環境は、この15年で大きく変わったように思われます。本来でしたら社会が大きく発展するに従って、皆さんがよりよく豊かに生活でき、生きていけるはずですが、しかし、身のまわりを見渡せばどうでしょう？物が溢れ豊かになった半面、自殺者が増加、幼い小学生までもが自ら命を絶つ社会となってしまいました。また、連日、殺人や目を覆いたくなるような痛ましい事件が起きます。全国の中学生の不登校は約12万人。いっこうに減る様子はありません。経済格差は以前と存在し、貧しい方は貧しいまま。情報化社会の中で、幼児・児童・生徒、青年層の様子はひと昔とは大きく変わり、インターネットにまつわるトラブル、ひきこもりなど将来に希望を見いだせない若者は年々増えている様子です。

このような情報化社会の日本の中で、教育に貢献できるWEBとは一体どのようなものなのでしょうか。どんなWEBが求められるのでしょうか。皆さんに希望と勇気を送れる励ましのWEBの完成を目指し研究活動を続けていきたいです。

②作りたいWEBの草案

- i) 気持ちがほっとするWEB
- ii) また見てみたいと思う刺激的ではないWEB
- iii) あらゆる方々のためになる、活用できる内容
- iv) 時代を先取りするデザイン
- v) 情報共有、交流できる場

③予想される利用者・・・教員（障害児教育、普通教育）、教育関係者、障害児・者支援関係者、障害のある方々、インクルーシブ教育関係者、国際交流・国際支援関係者

★基本的な研究組織の構築、今後の研究計画を作成しました。

3年間、今年度の研究計画の立案

<研究の流れ>

1年目 3年間の研究の計画

WEBの基本的な考え方、グランドデザインの構築

各役割分担

WEB作業計画立案

試作作業

第一次試作品完成

評価、まとめ

2年目 本年度の研究の計画

アンケート実施

試作品の改良

試作作業

第二次試作品完成

評価、まとめ

3年目 本年度の研究の計画

アンケート実施

試作品の改良

作業

基本形WEB完成

評価、まとめ

④研究会の予定

原則2か月程度に1度の会合

それ以外は個人作業もしくは、個別打ち合わせとしました。



※研究活動の様子 第二～三回会合（6～8月）

★今後の具体的な作業内容と役割分担を決めました。

①業務役割分担

i) マネージメント

全体の研究計画、研究員との連絡調整

会議調整をします。

ii) テクニカル部門

WEB管理、HP作成作業、研究員への技術伝達を担当します。

iii) デザイン部門

WEBのグランドデザイン企画をしたり、各カテゴリーのデザイン企画、調整したりします。

iv) 翻訳部門

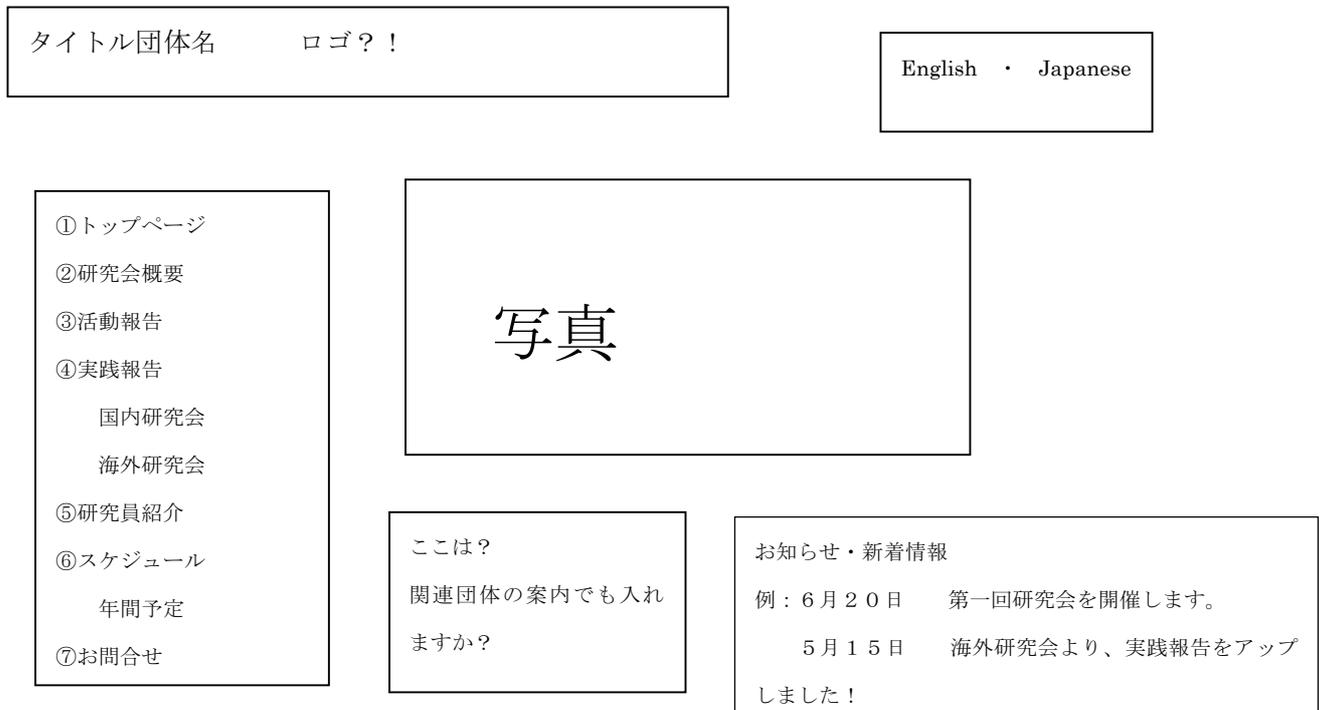
WEB全体、HPの各ページ、各カテゴリ内の資料やデータを英文に翻訳します。

1次翻訳と2次翻訳があります。

v) 庶務部門

会議の記録や会計を担当します。

②WEBのグランドデザイン、各カテゴリの検討決定



デザイン部門から上記のようなHPトップ画面の提案をしていただきまして、検討をしました。
また、各カテゴリも合わせて検討しました。

HPデザインは、5月の調査を元に熟慮に熟慮を重ね、修正事項を加え、最終テクニカル部門に一任しました。

○カテゴリについては、項目を少なくシンプルにすること。

○その各項目の中にいくつも階層を作り、そこに細分化できるようにすること
となりました。

※研究活動の様子 第四回会合（9月）

★WEBの立ち上げ作業をしました。

テクニカル部門の担当者から研修を受けながら、参加者全員でHPの構築の理論、作業方法、UP作業の方法を習得して、担当者と共に具体的に立ち上げ作業を行いました。

参加者からは、「非常に勉強になった」「HPは今までもビルダー等を利用して携わったことはあったが、一からこのように構築する、またFACEBOOKやツイッターとの連動をはじめ、様々な媒体と連携することで、幅広く活用できることが初めて分かった」などの意見が聞かれました。

※研究活動の様子（10月）

★試作HPに情報として入れたい資料やデータの選別の考え方、優先順位、各カテゴリ分け、今後の具体的な作業方法について検討を行いました。

参加者からは、「この資料は、研修資料に入れてよいものか単なる記録として扱ってよいものか？」

など、資料によっては内容が混在しているものがあるので迷います。」などの意見が多く出ました。団体として、このような場合の最終判断の意見交換をしました。

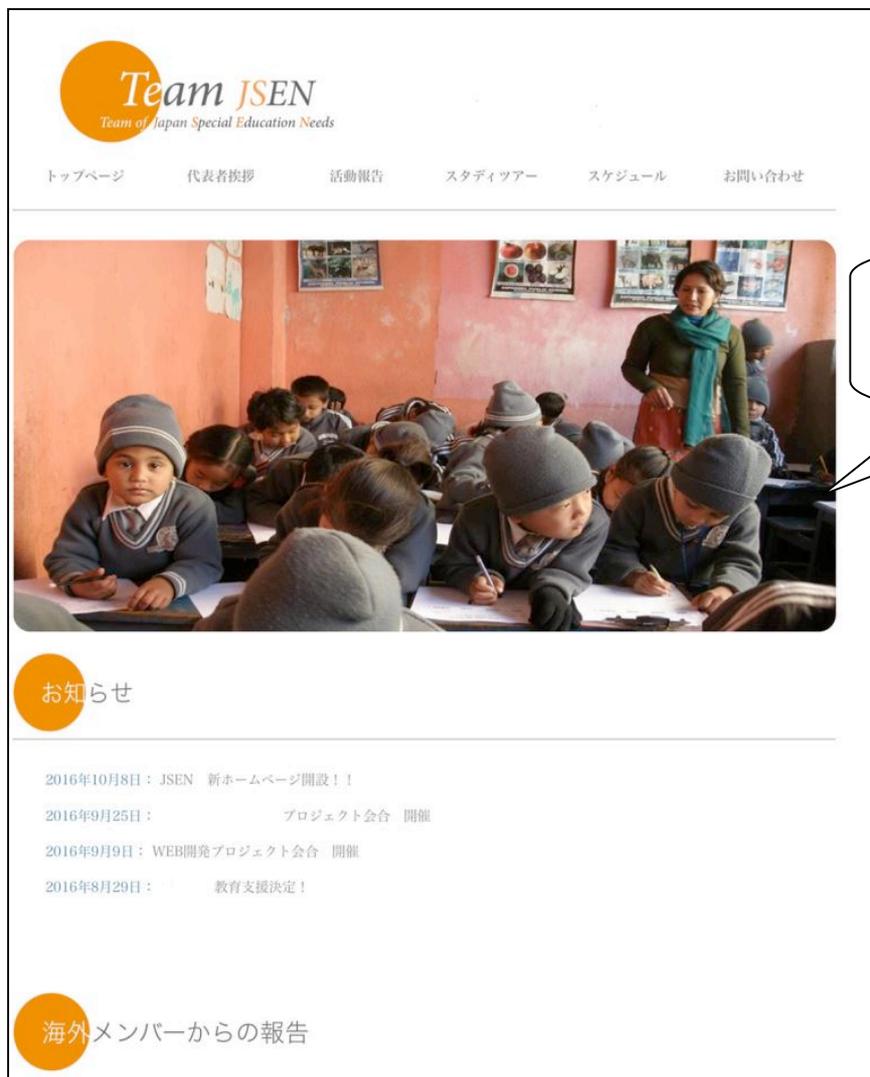
★試作品HP完成

10月中の試作品を目指しましたが、下記のようにいろいろ訂正がいくつも入りました。各研究員が連携を取り、やっとひとまず完成をみました。



～さんへ
○の所の訂正をお願いします。

【実際の試作品】トップページ画面



この場所の写真は、時間と共に様々な写真に変化していきます。

※研究活動の様子（11月～2月）

★各役割分担で研究員が集めた資料、データをテクニカル部門へ集約する情報UP作業をしました。10月と同様に各カテゴリーに入れる資料やデータなど複雑多岐にわたりましたが、一ずつ研究員相互に確認して、作業を進めました。（現在も進行中です）

また、翻訳部門からは、「資料をすべてとなると膨大な量になることからどの部分を翻訳する必要があるのか、また、1次翻訳2次翻訳の方々の作業が複雑にならないため、1次翻訳と2次翻訳の明確な役割分担、連携の仕方についてどのようにすればよいか」などの意見が出ました。

結果、翻訳する資料は、

○研修資料から始める

○1次翻訳、2次翻訳とも統一性を持たせないといけない言語事項の取り扱いは、各自で連携

○2次翻訳は 誤字、脱字、統一感、表現方法の変更の順番で確認

となりました。

表現方法については、多岐にわたる場合もありますので、マネージメント部門に相談しながら進めることになりました。

※研究活動の様子（3月）

★報告書作成

●今年度の研究のまとめ

予定通りだいたい進行できました。試作品もデザイン的に当初考えていたものより遥かに良いものができ、各方面からも好評価を頂いています。しかし、情報量がまだまだ少なく、カテゴリーも不十分な面も多いです。研究テーマに沿う内容に仕上がるのには、まだまだ時間が必要です。また、これからはより多くの人材が集まるよう努力して、更なるバージョンアップを図りたいと思います。

●今後の研究活動について

試作品を元に残り2年間で本格的なWEBサイトの基本形を作りたい。そのために、計画通り業務を進め、皆さんの協力を得ながら更なる実りある研究活動、社会に貢献できる活動をしていきたいと考えています。